

第7期高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画(案) に関する意見募集(パブリックコメント)の結果について

平成30年1月15日(月)から2月9日(金)まで実施した標記計画への意見募集(パブリックコメント)の結果を公表します。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

No.	該当箇所	意見	町の考え方/対応
1	基本方針	私は仕事が好きで今でも仕事に行きたいと思っているが体が動かない。外出は好きだ。今のところ夫が週に一度愛の郷に行ってくれるので助かってますし、本人にとっても良いと思っています。	介護予防の一環として、高齢者の閉じこもり予防に繋がる事業を展開していきます。
2	基本方針	重点目標①の中年層はまだまだ仕事に追われている人が多いので、健康維持や介護に関する意識の向上は本人の自覚に頼らざるを得ないのでは。	中年層の段階から、健康づくりの必要性や介護への理解を深め、誰もが自覚を持って行動できるよう啓発に努め、意識の向上に繋がっていきます。
3	基本方針	一人ひとりに目が行き届く…理想ではありますがなかなか難しいことだと思います。一人ひとりに目が行き届くためにはどうしていくのか具体的な対策がとられることを願います。	第7期計画では3つの重点目標を掲げており、関係機関や地域住民と連携しながら6施策30事業を実施することで、目標の達成と地域包括ケアシステムの深化・推進を図ってまいります。
4	基本方針	高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画のそれぞれに、第7期計画のポイントがあるはず。重点目標ではなく、計画のポイントとし、「地域包括ケアシステムの強化」「介護サービスの一層の充実」「2025年を見据えた人材育成」としてはどうか。	「地域包括ケアシステムの強化」は計画全体を通じて実現するものと位置付けており、「介護サービスの充実」は「安心できる在宅介護の定着」、「2025年を見据えた人材育成」は「元気な高齢者の介護予防と社会参加の促進」に該当します。また、本計画では、高齢者になる前の「中年層」の意識啓発、健康づくりにより将来的な必要介護者の増加抑制につなげることを重点的にやりたいと考えています。
5	基本方針	基本方針が図になっているのはおかしい。タイトルを「一人ひとりに目が行き届く地域包括ケアシステム強化の相関図」としてはどうか。	基本方針はP7の「予防」「介護」「医療」「生活支援」「住まいと生活環境」「生きがいや余暇」の6つの方向性であり、P8の図は地域包括ケアシステム強化の考え方になります。ご意見を参考に、図のタイトルについて「計画全体のイメージ図」に改めます。
6	基本方針	「一人ひとりに目が行き届く」ために介護だけでなく高齢者が生活している現場をみていただきたいと思います。	高齢者施策として、日常生活の困りごとに対応するための事業を展開していくこととしております。高齢者が安心して暮らすことができるよう、様々な場所へ出向き、ニーズの把握に努め適切なサービスを提供していきます。
7	基本方針	ひとりひとりに目が行き届くことはムリ。町外からの職員にはムリ。	超高齢化が進む中で、高齢者をいかに社会全体で支えていくかが大きな課題となっております。お隣やご近所の方の声掛けや見守りが定着したまちづくりを社会全体で目指し、職員は直接携わることはもちろん、その仕組みづくりや支援を行ってまいります。
8	基本方針	国・県・町といった公的な所ではなかなか気付く事ができないので、これからは地域での見守りを重点的に行う。	関係行政機関やサービス事業者、元気な高齢者を含む地域住民などの連携・協力により、住民一人ひとりにきめ細かな支援が確実に行き届くよう、第7期計画の各種事業を展開していきます。
9	その他	町長さんを始め、役場の偉い方々は、日頃からもって介護の現場を見ていただきたいと思います。事業名No.1～No.30まで全て高齢者が望む有難い施策です。きめ細やかな施策の実現をしていただきたいと願います。	
10	その他	誰でも介護は不安になる。自分の事として推進して下さい。	
11	重点目標	安心できる在宅介護は良いと思うが、私(67歳)も膝が悪く力がないので、将来夫(76歳)の介護はできない。	介護サービス利用者だけでなく、家族介護者の状態に応じたサービスを併せて提供することで、安心できる在宅介護の定着を目指します。
12	重点目標	安心できる在宅介護の定着において、高齢者本人の支援とともに高齢者を支える介護者も安心して介護していけるようフォローして頂けたらと思います。	介護サービス利用者だけでなく、家族介護者の状態に応じたサービスを併せて提供することで、安心できる在宅介護の定着を目指します。
13	重点目標	内容は地域包括ケアシステムを理解する上での切り口であり、重点目標にはなり得ない。位置も基本方針の前にあるのは理論上ありえないため、削除するべき。	重点目標は、第7期で達成したい事柄を位置付けており、基本方針に掲げる地域包括ケアシステムの一般的な考え方ではなく、愛荘町独自の設定になります。重点目標を先に記載することで、後の基本方針の考え方が理解しづらくなることから、ご意見を参考に基本方針の後に重点目標を記載するよう改めます。
14	重点目標	基本理念に含まれている「生涯を通じ、生きがい…」「見守りやサービスの提供により…」「幸せな高齢期のため…」の3つを基本方針にしてはどうか。	基本理念は、高齢者支援の根本的な考え方として、どんなまちをめざすのかを位置付けており、3つの項目は、「安心」「生きがい」「幸せ」が目指すところをわかりやすく説明するものであり、一体のものとして位置付けております。一方で基本方針は地域包括ケアを構成する分野ごとの計画を実行する上での方向性と位置付けております。
15	重点目標	介護が必要となっても住み慣れた地域で家族や友人に囲まれて暮らすのは理想ですが、核家族化が進んでいる現在では大変難しいと思います。	目標達成に向け、関係機関や地域住民の連携・協力を得ながら、各種事業を着実に進めてまいります。
16	重点目標	有難い目標と思います。	

No.	該当箇所	意見	町の考え方／対応
17	重点目標	元気な高齢者として、生涯現役を目指して介護予防に努めますが、最後は介護状態になるのですから、その時助けてもらえる事業を充実して下さい。	介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、在宅介護の充実を図ります。
18	重点目標	安心・生きがい・幸せあふれ、ホッとするまちとは程遠い現実。在宅介護は不安、しかたなく家と成るが安心できない。	仕事と介護の両立を支援するサービスの提供や、家族介護者に対する支援内容を充実させることで、在宅介護に対する不安を解消していきます。
19	重点目標	中年層の頃にはなかなか気付かない事が多いため、もっと意識していける学習会が必要なのは。	中年層の段階から、健康づくりの必要性や介護への理解を深め、誰もが自覚を持って行動できるよう啓発に努め、意識の向上に繋げていきます。
20	①介護予防の充実	今は週に1度、夫が愛の郷へ行ってきているので良いと思っています。	健康元気もりもり教室は高齢者が自主的な介護予防に取り組めるよう事業を進めており、今後も参加者同士がつながりを強めてより自主的な運動の場になるように展開していきます。
21	①介護予防の充実	介護予防の為に運動教室等を定期開催して頂けるのは大変良い事だと思います。一人暮らしの方の精神的なケアにもなると思います。	
22	①介護予防の充実	力をいれて頂き充実させてほしいです。	
23	①介護予防の充実	まず情報や知識が伝わるのが第一かと思えます。政策系の情報は分かりにくいことが多いので、分かりやすく伝えて頂けるとありがたいです。	事業の説明はホームページや広報で情報提供しております。住民一人ひとりが健康、介護予防を意識していただけるようわかりやすい情報提供等を検討します。
24	①介護予防の充実	中年層の生活習慣病に対する自覚が低い。改善の機会や集団検診率アップの推進が必要。(家族介護の担い手になるためにも自身の健康が大切です)	第7期計画では、「中年層の健康維持と介護に関する意識の向上」を重点目標としており、中年層に対し、健康づくり事業への参加や介護予防の普及と理解を高めるための効果的な啓発活動を展開していきます。
25	①介護予防の充実	みんな病気に」なるのは嫌だからそれなりのことはしている。年をとればできることが減る。	元気な高齢者が増え自分らしい生活がいつまでも過ごせるように介護予防事業を展開しております。事業に合わせて高齢者自身が介護予防に意識し生活を送っていただくことで健康寿命の延長を図ります。
26	①介護予防の充実	その状態になるまでわからないが、早くから予防の理解ができるように、この事は子どもにも意識できるような機会があると思う。	介護予防の啓発として地域のサロンや老人会で講座を実施しており、子どもへの啓発はできておりません。認知症に関しては小学校、中学校で認知症サポーター要請講座を実施し早くから認知症について学ぶ場を作っております。
27	②認知症対策の充実	夫(76歳、妻67歳)が仕事を辞めてから身体・頭の衰えを感じています。日々何もする事がないと昼寝します。何か趣味を持って生きがいを感じてほしい。認知症にならないか心配です。認知症のドラマや映画上映してほしいと思っています。夫は認知症がどんなものか知りません。	認知症の啓発については、紙芝居やDVD等を活用した認知症サポーター養成講座を地域に出向いて実施しています。第7期計画中にフォーラムを開催予定であり、ご意見のような映画上映等も検討していきたいと考えています。また、地域包括支援センターでは高齢者の相談を随時行っておりますのでお気軽にご相談ください。
28	②認知症対策の充実	高齢者の生きがい提供をすれば認知症予防になるのでは？	「生きがい」は基本方針にあげており、高齢者が地域で活躍できる場をつくるなど、誰もが「生きがい」をもつことができる地域づくりを目指します。
29	②認知症対策の充実	まず情報や知識が伝わるのが第一かと思えます。政策系の情報は分かりにくいことが多いので、分かりやすく伝えて頂けるとありがたいです。	広報やホームページ等の内容の検討、認知症ガイドブック(認知症ケアパス)を改訂しわかりやすく情報を伝えていきます。
30	②認知症対策の充実	高齢者は認知症だけでなく、身体能力も落ち、人の手助けがないと日常生活ができなくなる。家族だけでなく地域での見守りやサービスの充実を図ってほしい。	地域の見守りが重要になってくると考えています。見守り体制の充実の取り組みを進めていきます。
31	②認知症対策の充実	どこからが認知症なのか一人ひとり違う。	初期の認知症の診断は難しいことが多いです。お困りの場合はかかりつけ医または地域包括支援センターへご相談ください。
32	②認知症対策の充実	他人に知られたくないと思う気持ちが家族にも本人にも強いので、地域で相談・支援のできる人を教育してひとりでも多く育ててほしい。	認知症サポーター養成講座を開催し、「サポーター」として地域の理解者の増加を目指しています。地域や職場に出向いて開催いたしますので、ご希望される場合は地域包括支援センターへお申し込みください。
33	②認知症対策の充実	一人ひとり症状や程度の違う認知症の人に適切な量の薬を処方できる近くの医院はどれくらいあるか。	町内には専門医のクリニックがあり、豊郷病院には認知症疾患医療センターが設置されています。地域の医師も必要時には専門病院へ連携されている状況です。心配等がある場合はまず主治医に相談されることをお勧めします。
34	③在宅介護支援の充実	ショートステイなどのサービスやケアマネジャーの情報提供など、在宅介護支援はかなり進んでいると思います。(義母の介護はヘルパーさんに助けて頂きました。)	適切な情報提供が安心な在宅介護支援に繋がると思っていますので、引き続き実施していきたいと考えております。
35	③在宅介護支援の充実	必要サービスの確保、サービスの提供はもちろん必要です。しかしサービスの質が悪いではいけません。サービス提供事業者にはサービスの質を高める努力をして頂きたいですし、人材育成もしっかりして頂けたらと思います。	町と県により事業者の指導・監督を行っておりますが、よりよいサービスが提供されるよう事業所とも協力して事業および人材育成を進めていきたいと考えております。
36	③在宅介護支援の充実	お医者様も高齢になられて往診して下さるお医者様が少なく在宅介護は難しいと思う。生活も有り働きに出ないと駄目だし・・・。	愛荘町だけでなく、広域で医療体制のあり方を検討していきたいと考えております。
37	③在宅介護支援の充実	在宅介護のサービスを受ける手続きに事業所や施設病院等に家族自身が出向かなくてもよい規則を作してほしい。	利用者およびその家族がサービスを選択していただけるようこの様な制度となっているため、ご理解をお願いします。
38	③在宅介護支援の充実	家での介護はする人もされる人も不安。試してみわかる。	愛荘町には、介護者友の会「ひまわり」があります。介護者さん同士が交流することで、情報交換やリフレッシュできるような場となるように、内容を充実させていきます。

No.	該当箇所	意見	町の考え方／対応
39	③在宅介護支援の充実	やさしさと思いやりの心。在宅介護を誰もが望む事だと思し、以前はそれが普通だったのだからそうした環境づくりと近所づきあいが大切だと思う。密にする。	
40	③在宅介護支援の充実	在宅介護は24時間営業の店で働いているようなもので、肉体的・精神的に負担が大きい。仕事中でも早退等重なれば退職を勧められることも考えられるが、そうすれば生活が成り立たない。介護する側が年金生活になった時の金銭面・体力面の不安、在宅看取りをするために、死への自然な経過を受け入れられるのか。負担が大きくなるほど十分な介護をする気持ちが小さくなるかもしれない。	介護者の負担の軽減が図れるよう、適切な介護サービスが提供されるよう、町も取り組んでいきたいと考えております。
41	④医療・看護・介護の連携強化	在宅看取りの場合、夜中でも往診して頂ける医師が必要で、町では人数が少ないです。(義母は在宅看取りでした。)	在宅療養・在宅見取りを考えた際、訪問診療・往診が可能な医師は大変貴重な存在です。医師に常に24時間対応を依頼することは困難であり、訪問看護等の制度を活用していただいている状況です。
42	④医療・看護・介護の連携強化	24時間対応へのニーズは多いとは思いますが、サービス自体は十分にあるとは言えない状態かと思えます。ニーズへの対応が大切だと思います。多職種連携についても、医師・ケアマネだけでなく介護職もしっかり情報を共有して頂きたいです。	そこで、医師のみに負担のかからない体制整備のため広域で取り組みを進めています。その取り組みでは、医師だけでなく看護や介護・病院の連携強化にも取り組み安心して地域で療養できる地域を目指してるところです。在宅療養は本人と家族の意思決定も重要になってきます。お元気な時から、ご自分や家族の人生の最終段階の過ごし方について話し合える地域づくりも同時に目指していきます。
43	④医療・看護・介護の連携強化	本人が希望する在宅見取りが増えると思う。家族と共に時間を過ごせる支援の充実を図ってほしい。	
44	④医療・看護・介護の連携強化	医者が町内に住んでいないので連携は無理。夜が不安。	
45	④医療・看護・介護の連携強化	これが行政の方で充実してほしい。安心して在宅介護するためにも体制を整備してほしいと思えます。	
46	④医療・看護・介護の連携強化	夜間や緊急時に気持ちよく気軽に往診に来てもらえるかかりつけ医が見つけられるか。	
47	⑤生活支援・見守り体制の充実	愛のリタクシーの停留所が離れている。	愛のリタクシーの利便性を向上する取組を展開していく中で大変貴重なご意見として、関係機関へ要望していきたいと考えております。
48	⑤生活支援・見守り体制の充実	今は自分で車の運転ができるので不自由は感じませんが、高齢の方は自分で思うように動けないので、買物・通院など大変だろうと思えます。	買い物支援サービスの内容等や通院時のタクシー券の助成等、情報提供を行うとともに、生活・介護支援サポーターによる支援方法を検討していきます。
49	⑤生活支援・見守り体制の充実	地元商店街が無く、食品でさえ買いに行けない、買物難民がますます増える。移動販売(昔のご用聞きなど)や、配食サービスも充実してほしい。愛のリタクシーは今のままでは使いづらい。	
50	⑤生活支援・見守り体制の充実	移動・買物・調達が困る。なんとかしてほしい。	
51	高齢者のお困りごとについて	一人暮らしで買物に行けない方に、時々家庭菜園の野菜を届けると喜んで頂けます。	
52	その他	今では毎日のように車で大手スーパー店へ買物に出かけますが、時折(特に冬場)もう少し近くにお店ができる事を望んでおります。小さなお店でおしゃべりをしながら・・・	
53	⑤生活支援・見守り体制の充実	災害については、今後大地震発生の予測もあり、きちんとした避難計画が必要だと思います。また、町内には3つの特養と1つの有料老人ホームもあり、そこも含めた訓練も必要ではないでしょうか。	水防法の改正により、町の防災計画において浸水区域となっている要支援者利用施設については、避難計画の提出と避難訓練の実施が義務付けられました。今後必要に応じて、確認を行って行きたいと考えております。
54	⑤生活支援・見守り体制の充実	1人暮らし世帯が増えてきていますが、今一つ周知されていない部分が多い。町単位でなく字単位で取り組むべき問題と思う。	お互いさまのまちづくりについて、生活・介護支援サポーター養成講座等を通じて、啓発していきます。
55	⑤生活支援・見守り体制の充実	個人的な事でもあり嫌がる人も多いが、お互いが心を開いて見守る人も見守られる人も気持ちを切り替える事が必要なのでは。	
56	⑥生きがいや余暇の充実	近所の公民館でひと月に一度高齢者が集う会を作ってください参加しています。喋るだけでは物足りないので、たまには町から来て欲しい。	地域包括支援センターが、介護予防などの出前講座を行っておりますので、ご希望される場合は地域包括支援センターへお申し込みください。
57	⑥生きがいや余暇の充実	高齢者が気軽に集まれて楽しく過ごせる場所づくり。個々が得意なことを他の人に教えたり・・・	高齢者同士が支え合い、地域の居場所ができるよう愛荘町地域高齢者助け合い事業を活用していただけるよう、事業の啓発を行います。
58	⑥生きがいや余暇の充実	ボランティアカフェの手品や、アートフラワー、老人クラブで習った指編みマフラー等楽しく受講できました。	各事業の目標達成に向け、関係機関や地域住民の連携・協力を得ながら、住民の皆様に満足いただけるよう各種事業を着実に進めてまいります。
59	⑥生きがいや余暇の充実	サポーター、ボランティアとも正しい知識を身につけて頂けたらと思います。住民主体で取り組むことが理想です。しかしそこに到達するまでに、担い手の確保・育成をしてフォローして頂けたらと思います。	毎年、生活・介護支援サポーター養成講座、生活・介護支援サポーターフォローアップ講座を開催しておりますので、多くの住民の方に参加していただけるように、内容の充実や啓発を行っていきます。
60	⑥生きがいや余暇の充実	地域における居場所として老人クラブやサロンは老人にとってうれしいものです。町の福祉計画でも支援して下さると役員さんも張り合いが出るのではと思います。	今後も高齢者施策を中心に高齢者の居場所や活動場所を確保し、高齢者のいきがいや余暇の充実に注力していきます。
61	⑥生きがいや余暇の充実	支援があってもそれを生かせる制度が広まってなくて利用されていないのが現実だと思います。	地域包括支援センターが出前講座を行っております。その際に、制度等の啓発を行っていきます。

No.	該当箇所	意見	町の考え方／対応
62	⑥生きがいや余暇の充実	集落や隣組単位でのサロンなど小さな集りの中からなら要望も出やすいと思う。とにかく現場の声を聞いてほしい。	サロン等への出前講座や訪問を通じて、地域の方のお声を聞かせていただきます。
63	⑥生きがいや余暇の充実	老人は時間があっても金も生きがいも無い。	町では知識・経験・技術を活かし、生きがいや健康づくりにつながるようシルバー人材センターの運営支援を行っています。
64	⑥生きがいや余暇の充実	話せる仲間、楽しめる時間等の居場所が必要。次は自分の歩む道だという事を意識している事、その活動ができるように支援の強化が必要。	高齢者同士が支え合い、地域の居場所ができるよう愛荘町地域高齢者助け合い事業を活用していただけるよう、事業の啓発を行います。
65	高齢者のお困りごとについて	25年前に義母が認知症になり、週1回デイケアに行ってくれて本当に助かりました。介護する私自身、ストレス発散のため安心して外出できました。言葉遣いは責めるのではなく褒める事が大事だと思いました。	介護経験のある方の知識や知恵を共有できる仕組みをつくることで、介護に関する意識の向上を図っていきます。
66	高齢者のお困りごとについて	送迎してもらえるのが良い。1か所じゃなくて2か所と行けるようになったのも良い。歳を重ねると外出も減るので、外へ出るのが良い。※受講生が先生になって教えてほしい。(縫い物等)	健康元気もりもり教室への送迎を実施することで多くの高齢者にご参加いただいております。この教室では高齢者が自主的に健康づくりに取り組んでいただける事業として実施しております。今後も多くの方に参加いただき、自主的に運動機会が作れる場として参加者の意識づけや事業展開を行います。
67	高齢者のお困りごとについて	何時もお世話になっております。送迎を利用して頂きありがたく参加しております。以後、よろしく願いいたします。	
68	高齢者のお困りごとについて	送迎して頂き有難く思っています。これから頑張ります。	
69	高齢者のお困りごとについて	送迎があるので、もりもり教室に参加させてもらっています。	
70	その他	介護が必要となるまでは、地域包括支援センターの教室やその他にもできるだけ参加することが健康寿命にも繋がる。誘い合いの声掛けを。	
71	その他	健康元気もりもり教室を受講しています。楽しく体が動かせるのでできるだけ参加したいと思います。	
72	その他	少しでも皆さんに手がかからないよう手足を動かしたいです。送迎ありがとうございます。1日1日頑張ります。	
73	その他	数年前に越して来て親しい友人はいないが参加して心も身体も明るく元気で過ごせています。ありがとうございます。	
74	その他	今現在行われている健康教室4月以降も老人の楽しみとやる気のため続けてほしいです。	
75	その他	健康教室を開催してくださり、有難いと思いますが送迎をして下さっても利用する人が私の字ではほとんど無いので残念です。	
76	その他	続けてくださいね。お願いします。	
77	高齢者のお困りごとについて	102歳で祖母を見送りましたが、介護の方で、ベッド・トイレ・手すりと借りられ、本当に助かりました。老々介護でストレスも溜まりましたが、ショートステイを一年程利用して、心の一息がつけました。皆様にはよくして頂きありがとうございます。	介護保険サービスを利用していただくことで高齢者や介護者が無理なく自宅で過ごすことができたと考えております。今後も、介護者家族の休息の場も確保できるように町内事業所へ働きかけを実施していきます。
78	高齢者のお困りごとについて	三重県紀北町の「まおちゃんのおつかい便」(私がしたことではありませんが)過疎地で軽トラに食品を乗せ高齢者宅を回っている女性。頼まれ事も引き受け、高齢者に喜ばれている。	先進地での様々な取組を参考にしながら、地域の特性に沿った支援の実施について検討します。
79	その他	・愛のリタクシーを時々利用します。二人暮らしで年金収入が少なく、夫婦と一緒に愛のリタクシーに乗車するときは一人分(450円)で載せてほしいです。 ・昨年は長野で認知症の映画をされたが参加できなかったので、町で見る機会を作ってほしい。	愛のリタクシーの利便性を向上する取組を展開していく中で大変貴重なご意見として、関係機関へ要望していきたいと考えております。
80	その他	介護予防体操教室への参加者が増えていることはとても嬉しい事です。今後参加者の身体状況の変化をどう評価していくのか、住民主体へどのように移行していくのが課題だと思います。また、教室に出て来れる方は良いですが、出て来ない方へのフォローをどうするのかも課題かと思えます。	教室の参加者へは自己評価表を配布しており、自身が身体状況の変化に気づいていただくように提案しております。住民主体への移行につきましても、参加者の意識づけを進められるように事業展開を検討しております。
81	その他	「施策」→「分野」、「事業」→「施策」としてはどうか。介護保険事業計画は「事業」になじむが、高齢者保健福祉計画には不向きであり「施策」が正しい。「6の分野30の施策」で構成されていると訴求する方がわかりやすい。	本町においては、「政策＝まちづくりの分野」「施策＝分野ごとの事業群」「事業＝個々の取組」と位置付けており、本計画はまちづくりの分野の一つに関する計画であることから、「施策」「事業」と表現しております。
82	その他	サロンを開いても男性の参加が少なくどうすれば良いのか難しい。自分にできる事、役に立つ事があれば積極的に参加してほしい。	男性や運動が苦手な人のニーズを拾いながら、誰もが参加しやすいメニューを検討し実施していきます。
83	その他	在宅介護をしておられるご家族、過去にしておられたご家庭を訪問されれば、より良い具体的な現実が見えてくると思います。	介護経験のある方の知識や知恵を共有できる仕組みをつくることで、介護に関する意識の向上を図っていきます。